

西部教育局ホームページ

とっとりの授業改革【10の視点】

**鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっとりの 授業改革 【10の視点】**

知的好奇心 の喚起

**活用する力を育てる
言語活動と学習評価**

**次につながる
ふり返り**

① 魅力的な課題・教材の提示
調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示し、学習への見通しを持たせる

② 体験的な学習 の充実
これまで学んだことや日常生活とのつながりを意識させ、具体物を用いたり、実験や作業、視覚教材を使用するなど体験的な学習を取り入れる

③ 資料の活用
問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する

④ 思考の整理
調べたことやわかったこと、問題の解き方や考え方をノートに書かせる

⑤ 説明・発表の機会の充実
考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する

⑥ 学び合う活動の充実
ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する

⑦ 学習評価 の推進
一人一人の学習状況や実現状況を把握し、個々に応じた手立てや支援を行う

⑧ 学習をふり返る活動の設定
「ふり返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わったり、次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する

⑨ 家庭学習と連動した学び の定着
学校で学んだことが家庭での復習や予習、主体的な学習につながるような支援に努める

アクティブ・ラーニングの視点
課題の発見と解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ。

⑩ 落ち着いてのびのびと学べる環境づくり (学びの集団・人間関係づくり)

校内授業研究充実のためのポイント

もくじ

- 西部地区小中特別支援学校の校内授業研究の様子はどうなっていますか 1
- 今、なぜ校内授業研究の充実が求められているのですか 2
- 校内授業研究は、どのようにスタートしますか 3
- 校内授業研究にPDCAサイクルをどう生かしますか 4
- 校内授業研究において、教職員一人一人にどのようなことが求められますか 5
- 授業研究会に学ぶ場とするために、どのようにしたらよいですか 6, 7
- 授業研究会の学びを日々の授業に生かすには、どのようにしたらよいですか 8
- 校内授業研究充実のためのポイント 9

**【校内授業研究 充実のための
ポイント】**

西部地区的子どもたちのよりよい成長のために

【校内授業研究は、どのようにスタートしますか】

校内授業研究室は、どのようにスタートしますか

自校の授業を改善することが、実現のための「基盤」を生み出します。「データをもとに自校の児童生徒の課題を明確にする」「自校で実施している授業の実態把握を行なうことにより、現状や課題点を本気で改善したい」という思いを企画段階で共有するのです。到着点をどこに置くかといった点について、企画段階から本気で改善したいという意を企画段階で共有するのです。

【研究課題を見いだすための2つの作業】

①子どもの実態に関する率直な意見交換
子どもたちの実態から察しながら、何を大切にすることを大切にします。とりわけ学習面についての子どものよさと課題を具体的な姿勢から分離していくことが大切です。また、なぜそのような課題が生じるのかといった背景の部分や、到着点をどこに置くかといった点について、企画段階から話し合なうことをを通して、子どもたちの見える課題がどこにあり、どう改善すべきかが明らかになっていくことが切迫性のある課題を生み出すことにつながります。

②実施実績している授業の現状把握
子どもたちの実態や、実施実績している授業の現状に依存していることが多いです。また、子どもの抱える学習面についての課題や改善は授業を通じて行なうことになるので、授業がどのような質なものであるかを把握することが大切です。
まずは、各自が丁寧に授業を観察したり、子どもの授業アンケートを行なうことで、問題を明らかにして。その後全員で質問や改善案を出し合なうことで、みんなで力を合わせ、ともに支援合って取り組んでくる研究課題をクリアへつなげています。

【校内授業研究のスタート(例)】

児童生徒の実態把握
日々実施している授業の現状把握
課題の焦点化
目標・授業像の共有
研究課題の検討
(主題・仮説・組織・評価計画)
毎回授業研究に取り組んでいますが、児童生徒の実態への理解がほしいところに注目しているのですが、
授業研究が終わってもまだわからないところがあるのですが、どうして授業研究をするのかがわからなくなってしまうことがあります。そのため、授業研究のための目標や課題を明確に設定するところが大切です。



<http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoku/>

旬な情報を発信しています。
是非アクセスしてみてください！



テーマできめず
県の紹介
お知らせ
ネットで手続
県政情報
組織と仕事
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

ツイート

西部教育局
トップページ
西部教育局のミッション
組織・業務分担
所在地・アクセス

西部教育局の取組み
西部のお役立ち情報
(きらりと光る西の宝もの)
学校経営・運営・校内
授業研究
生涯学習の推進

その他
臨時職員募集
西部教育局は教育委員会及び教監

西部教育局
西部教育局は、米子市・境港市・西伯郡・日野郡の各市町村教育委員会と連携しながら、学校教育の充実及び生涯学習の推進に取り組みます。

とっとりの授業改革【10の視点】

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっとりの 授業改革 【10の視点】



リーフレット

**【校内授業研究 充実のための
ポイント】**

【校内授業研究における授業づくり】

【教科として大切にしたいこと】

【参考】

「校内授業研究における授業づくり」、「教科として大切にしたいこと」、「参考」の3つが記載されています。

【参考】

「校内授業研究における授業づくり」、「教科として大切にしたいこと」、「参考」の3つが記載されています。

特別支援学校における授業づくりリーフレット(前半)
特別支援学校における授業づくりリーフレット(後半)



西部教育局ホームページ

特別支援学級における授業づくり



特別支援学級における授業づくり
今持っている力を最大限に発揮して
自ら伸びようと子どもの育成のために

もくじ

- 特別支援学級で学ぶことのよさは、どのようなことでありますか? P.1
- 特別支援学級担当者は、授業づくりでどのようなことに困っているのですか? P.2
- 特別支援学級をめぐる、どのような問題がありますか? P.3
- よりよい授業づくりのために、どのように子どもの実態把握をすればいいのですか? P.5
- 子どもが身につけなければならない能力を確実に身に付けて、主体的に学ぶ授業とは、どのような授業なのでしょうか? P.6
- 実践例 I 国語 小学校知的障がい学級 P.6
- 実践例 II 算 数 小学校知的障がい学級 P.8
- 実践例 III 算 数 小学校知的障がい学級 P.10
- 実践例 IV 学級活動(2) 中学校知的障がい学級 P.12
- 交流及び共同学習のねらいとポイントは、どのようなことですか? P.14
- 特別支援学級の授業づくりを推進する効果体制の整備として、どのようなことが必要なのですか? P.15
- 授業づくりに困った時、どのように相談すればよいのですか? P.16
- 特別支援学級担当の先生へのメッセージ P.17
- 利用・参考文献

5. 実践例 I 国語 小学校知的障がい学級



リーフレット



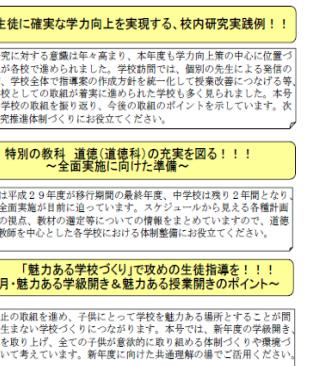
新着情報

お役立ち情報(きらりと光る西部の宝もの)



西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

新着情報には、当該年度に作成したお役立ち情報を、月ごとに公開しています。
(PDF)
バックナンバー(平成26年度~)については、【西部教育局の取組み】からご覧ください。

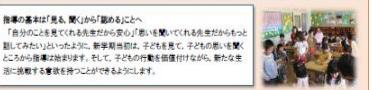


検索

<http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/>

教師として大切にしたいこと

もくじ



お役立ち情報及び各リーフレットは、すべてPDFで公開しています！必要に応じてダウンロードや印刷をしてください。



鳥取県のホームページ内に
西部教育局のページが作られています。



鳥取県
Tottori Prefecture Web Site

県議会

県教育委員会

県警察本部

東部教育局

中部教育局

西部教育局